



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク：ノウルーズに際したオジャラン PKK 指導者に関するバルザーニー大統領の声明
(3月25日付アッタアーヒー紙)

3月25日付アッタアーヒー紙は、ノウルーズ（新年祭、「ネヴルーズ」とも言われる）の際に発せられたオジャラン PKK 指導者のメッセージに関して、マスード・バルザーニー・クルディスタン地域政府（KRG）大統領が声明を発表した。概要は以下のとおり。

1. 我々は以前からクルド問題の解決に向けた正しい道筋は、政治的・民主的方策であると確信していた。なぜならば、クルド問題は政治問題であり、軍事的手段による解決は不可能であるからである。
2. 本来のノウルーズの機会にオジャラン氏が発したメッセージは、暴力の停止及び政治プロセスの開始を呼びかけるものであり、我々はこれを強く歓迎し、支持する。
3. 和平プロセスは、あらゆる勢力が原則に従い粘り強く忍耐することが求められる。また、同和平プロセスは単なる一時的な政治戦術ではなく戦略的な問題である。我々は、あらゆる勢力に対しクルド問題が和平に移行し、強化され、政治的・平和解決のための着実な歩みをすすめるよう、真剣に取り組むことを呼びかける。
4. KRG は、これまでも和平プロセスへの支援を表明してきており、現在でもトルコにおけるクルド問題の和平への以降及び政治的解決に向け、トルコ政府と PKK を支援するためのあらゆる用意が出来ている。